

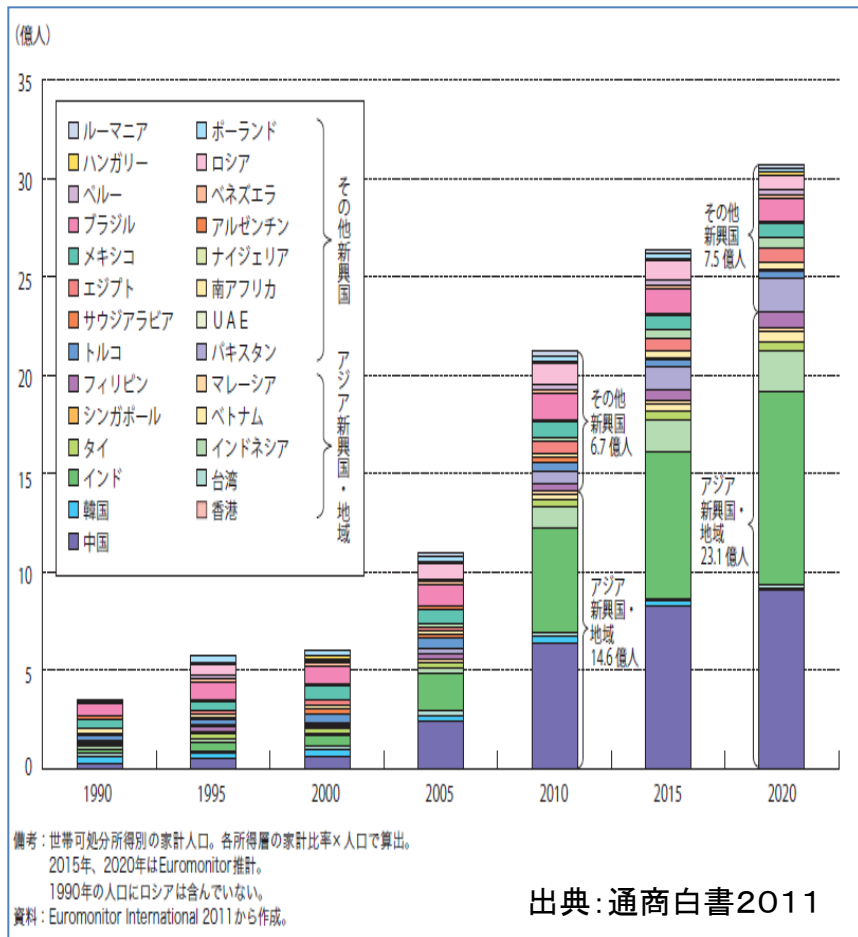
「アジア太平洋産業技術・国際標準化協力 プログラム」の進捗状況

平成23年12月15日
経済産業省
基準認証政策課

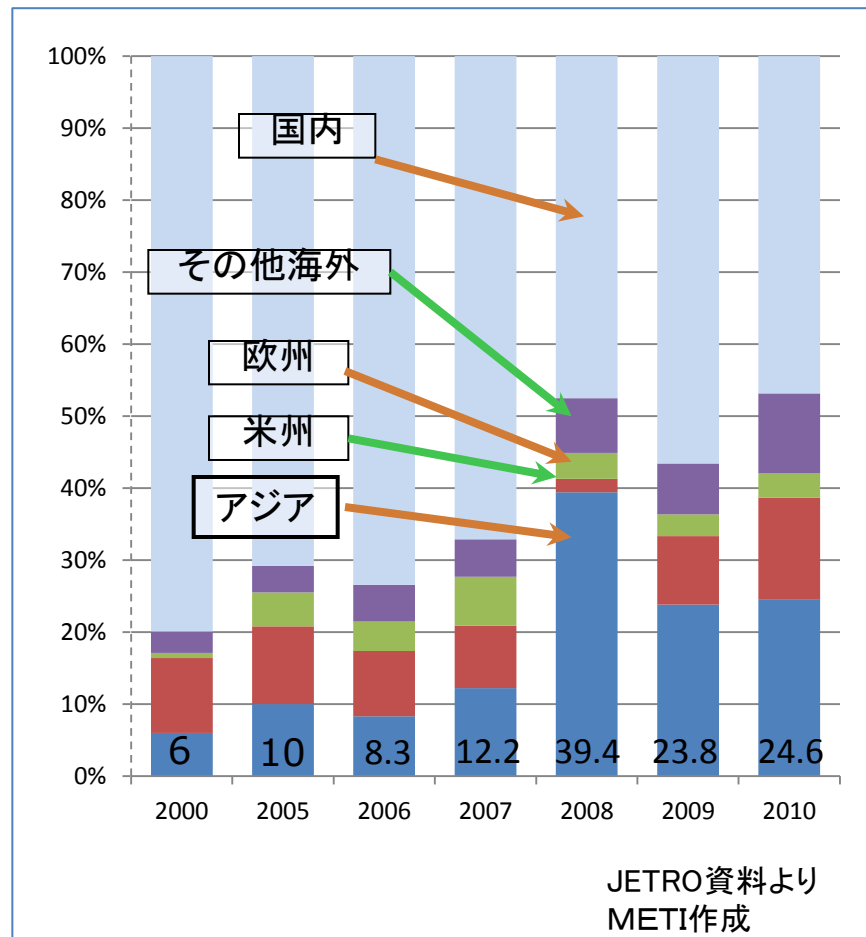
アジア太平洋地域における連携強化の必要性

- 日本にとって、少子高齢化の中、「アジアとともに成長する」ことは成長戦略の基本。
- 既に日本企業の収益の1/4強はアジア。アジア新興マーケットの獲得(ボリューム・ゾーン、膨大なインフラ需要への対応、新たなサービスの提供)は日本の企業戦略の柱。

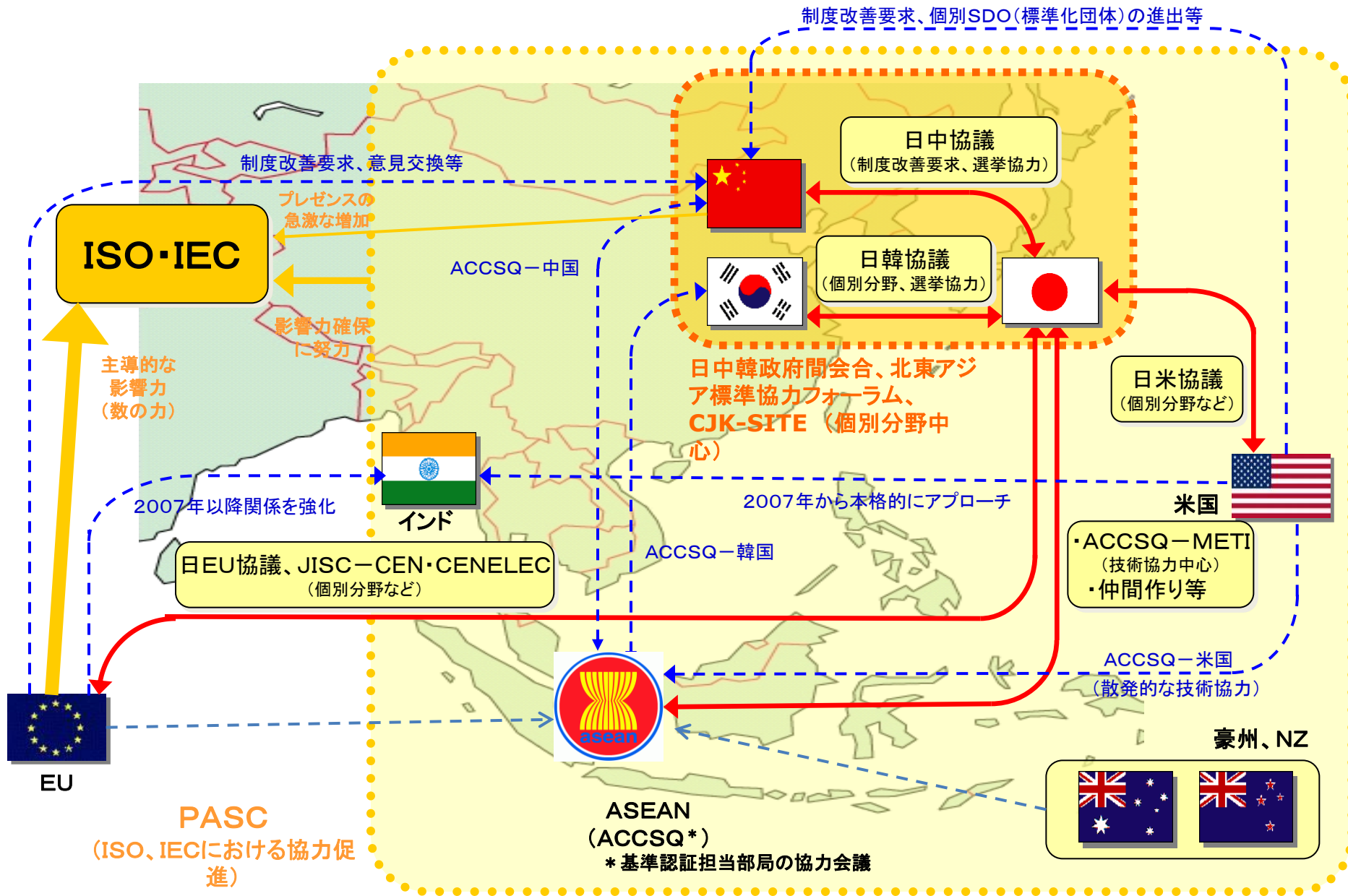
アジア新興国中間層の人口推移



日本の上場企業の営業利益の地域別比率



標準化に係る国際関係の全体図



アジアプログラムの基本的コンセプト1

我が国経済の持続的かつ安定的な発展を実現していくためには、環境問題への対応や安全・安心の構築を進めつつ、我が国経済とつながりの深いアジア太平洋地域の経済発展を促進し、それが我が国に波及するようにしていくことが重要。



その実現には基準認証分野におけるアジア太平洋地域との連携・協力が必要

米国や中国・韓国などと連携し適切な国際標準化を進めることが必要。また東南アジア諸国をパートナー化。

アジア諸国等における省エネ技術等の普及には、製品や技術を評価する方法の適切な標準化とその認証体制を構築することが必要



アジア太平洋産業技術・国際標準化協力プログラム(仮称)を策定し、基準認証分野におけるアジア太平洋地域との協力関係を強化する

アジアプログラムの基本的コンセプト2

○アジア諸国が、省エネ・新エネの導入や製品安全対策に積極的に取り組みつつある中、性能の劣る安価な粗悪品が市場に浸透。

○しかしながら、製品性能を的確に評価する仕組みがないために、粗悪品の排除は困難。アジアの消費者にとって大きな懸念材料。加えて、本来性能が勝る日本製品普及の阻害要因。

○アジア諸国の「安全・安心」の確保、併せて、日本企業のアジア市場獲得促進の観点から、我が国として基準認証分野における協力を強化することが肝要。

【日本が強みを持つ製品の世界生産シェアの変化】

	生産国	2003年		2008年
冷蔵庫	日本	4.8%	→	2.5%
	中国	29.0%	→	43.0%
	その他アジア	25.3%	→	20.2%
エアコン	日本	12.3%	→	5.8%
	中国	45.9%	→	64.9%
	その他アジア	26.6%	→	22.2%
太陽電池	日本	47.0%	→	14.0%
	中国	7.0%	→	36.0%

※太陽電池については、2005年と2009年のデータ。

【アジア諸国の基準認証制度の現状と課題】

	日本	シンガポール	マレーシア	タイ	インドネシア
国際規格との整合性	整合 (日本の実情に合わせて適正化)	整合 (ただし、国際規格の単純導入)	60%程度 整合	60%程度 整合	30%程度 整合
認証制度	製品検査 管理体制検査 市場採取検査	製品検査 のみ	製品検査 管理体制検査 市場採取検査 (日系企業から、運用上の問題について指摘あり)	製品検査 管理体制検査 市場採取検査	製品検査 管理体制検査 市場採取検査

アジアプログラムの概要1

アジア太平洋産業技術・国際標準化協力プログラム(平成22年4月26日)の具体的内容

1. 新分野における共同研究と国際標準化の一体的取組

- 太陽光発電など新分野の新商品群創造に向け、アジアとの共同試験・研究や国際標準化の共同提案を推進

2. エネルギー関連機器に関する実効性ある認証システム構築支援

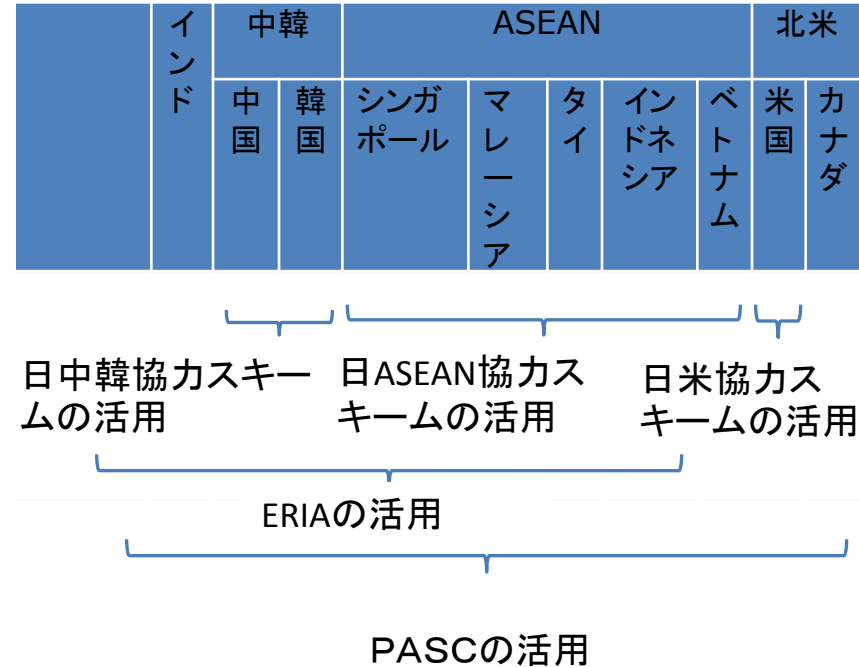
- 我が国の優れた技術・製品が正しく評価されるよう、エアコン・冷蔵庫のエネルギー効率の評価方法等をアジアへ普及

3. 各国の産業振興に寄与する標準化推進

- バイオDME燃料などアジア各国が技術を有する地場産業の標準化に協力

4. 横断的協力

- 人材関係(人材交流、人材育成)



アジアプログラムの概要2

目的

- 国際標準化、認証能力の向上等に向けた国際共同実証を実施することにより、アジア諸国と一体となった成長を実現。

事業概要

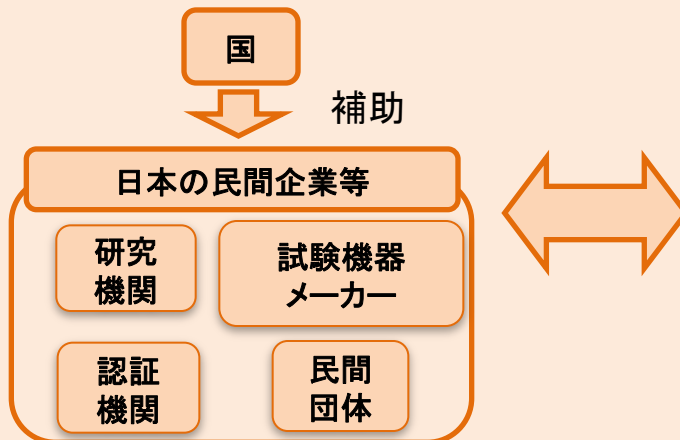
- ①太陽電池など、日本製品の強みが適正に評価される性能評価方法等を共同開発。
- ②開発した性能評価方法等をアジア諸国と連携しつつ国際標準として提案。
- ③製品性能を「見える化」するため、アジア諸国の試験機関の認証能力向上をソフト面も含め支援。

期待される効果

- アジア諸国の試験機関の認証能力向上させ、優れた性能を持つ日本製品が適正に評価され、粗悪品が排除されることが期待。
- 結果として、アジア諸国の直面する課題解決に貢献するとともに日本企業のアジア市場拡大にも寄与。



スキーム



事業テーマ

- ・太陽電池の長期信頼性試験方法
- ・生体認証製品読取機器の評価方法
- ・冷蔵庫の消費電力量評価方法
- ・次世代自動車用バイオDMEの燃料品質
- ・パーソナライズド人工関節の機能・安全性評価基準
- ・家庭用エアコンの性能測定方法
- ・超小型衛星の耐宇宙環境性評価方法
- ・タービンの遮熱コーティングの特性評価試験方法
- ・金属材料の二軸バルジ試験方法

※実施主体には、海外企業、日系企業現地法人も含む。

アジアプログラムの協力国

	南アジア	アセアン					東アジア		北米	
	インド	インドネシア	マレーシア	シンガポール	タイ	ベトナム	中国	韓国	米国	カナダ
研究・実証	冷蔵庫	冷蔵庫 エアコン	冷蔵庫 エアコン	太陽光発電 冷蔵庫	冷蔵庫 エアコン	冷蔵庫 エアコン	バイオDME 人工関節	バイオDME 生体認証		
標準化	二軸バルジ	遮熱コーティング バイオDME	超小型衛星	人工関節 エアコン	人工関節		生体認証 二軸バルジ	二軸バルジ 遮熱コーティング	太陽光発電	超小型衛星
認証										